

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		ごみ減量及びリサイクル促進事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせ るまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」 の構築		<input type="checkbox"/> 産業の共生による市経 済の持続的発展		
総合 計画 体系	政策	4	生活環境の健全			所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩		
	施策	18	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	尾ノ上明日美		
	業務分野	61	ごみの発生抑制とリサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1142		
予算科目		会計 一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11476	法令根拠	合志市再生資源集団回収助成金交付要綱 合志市生ごみ処理機器設置事業補助金交付要綱、合志市ダンボール			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	再生資源物の回収を行う団体に対し、回収量に応じて助成金を交付する。(平成5年度開始、10円/kg(古紙類、缶類、布類、ペットボトル(H19より追加))、10円/本(1升ビン)、8円/本(その他のビン)) コンポスターは昭和60年度から、電動式生ごみ処理機は平成3年度から補助を開始した。(補助額:購入額の1/2以内、電動式生ごみ処理機は上限30,000円/基、生ごみ処理容器・EM容器:上限4,000円/基)。前回補助金交付から5年以上経過した場合の再購入は補助対象としている。また、電動式生ごみ処理機は高額なため、事前に試験的に利用できるよう電動式生ごみ処理機の貸し出しも実施。ダンボールコンポストは1世帯当たり一式500円/基、機材のみは350円/基(1世帯当たり年間4基を上限)に補助を行う。 いずれもごみ減量化に有効であることから、今後も継続して事業を実施していく。
【業務の流れ】	(再生資源集団回収助成金)回収団体登録受付、助成金交付申請受付、審査、交付決定・確定通知、支払事務(生ごみ処理機器設置補助)補助金交付申請受付、審査、交付決定・確定通知、支払事務 ごみ減量に関する取り組み(生ごみ処理機の貸し出し)受付・貸出・アンケート集計
【主な予算費目】	職員手当(時間外)、役員費(通信運搬費)、負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

(再生資源)令和6年5月10日に生涯学習課主催の子ども会連絡協議会に参加し、助成金事業についての説明及びチラシの配布を行い事業の周知啓発を行った。12月には未申請団体、2月には全団体を対象に助成金申請手続きの案内通知を送付した。60団体に対し助成を行った。(生ごみ処理機器)電動式生ごみ処理機48基、コンポスター8基、ダンボールコンポスト53基に対し補助金を交付した。ホームページに掲載し、イベント等でチラシを配布することで周知を図り、ごみ減量化に努めた。再生資源集団回収助成金:申請数130件、助成額4,523,132円
生ごみ処理機器設置補助金:申請数109件、補助額1,277,650円
以上の成果として、市民のごみの減量とリサイクル意識の醸成、向上に寄与することができた。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

(再生資源)子ども会総会を通じた再生資源集団回収助成金事業を周知し、併せて本事業の新規登録団体増加及び既登録団体の再生資源集団回収活動の活発化を図る。
(生ごみ処理機)HPや広報誌を通じ本事業の周知啓発を図り、ごみ減量化に繋げる。

③予算の主な増減の理由

再生資源回収団体の収集量の減少見込みに伴う補助金の減

成果指標

ア 助成を受けた団体数/登録団体数
イ 生ごみ処理機器設置補助件数
ウ

(単位)

データ取得方法

% 補助実績集計より
件 補助実績集計より

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	70	87.1	100	86.9	85	85	85	85
イ	件	108	87	112	109	90	90	90	90
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	5,583	5,001	8,488	5,867	9,445	9,395	9,345	9,295
(A) 事業費計	千円	5,583	5,001	8,488	5,867	9,445	9,395	9,345	9,295

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

(再生資源)令和6年度は、登録のある69団体のうち60団体に対して4,523千円の助成金交付を行った。
(生ごみ処理機器)令和6年度は、電動式生ごみ処理機48基、コンポスター8基、ダンボールコンポスト53基に対し1,277千円の補助金交付を行った。
再生資源集団回収助成金事業及び生ごみ処理機器設置補助金事業を実施することにより、市民のリサイクル意識の醸成・向上に寄与することができ、また、一人当たりのごみ排出量の削減を行うことができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)